

2024年度  
特別展

會津八一と

2024.  
10/1<sup>火</sup>  
〜  
12/8<sup>日</sup>  
10:00 > 18:00  
(17:30まで受付)

# 大和路

入江泰吉・杉本健吉とともに

会場 新潟市會津八一記念館 (新潟日報メディアシップ5F)

休館日 月曜日(ただし祝休日の場合は翌日)

観覧料 一般600円、大学生300円、高校生200円、小中学生100円

※団体20名様以上2割引、土日祝日は小・中学生無料

主催 新潟市、新潟日报社、BSN新潟放送、公益財団法人會津八一記念館

協力 浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造

後援 朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、

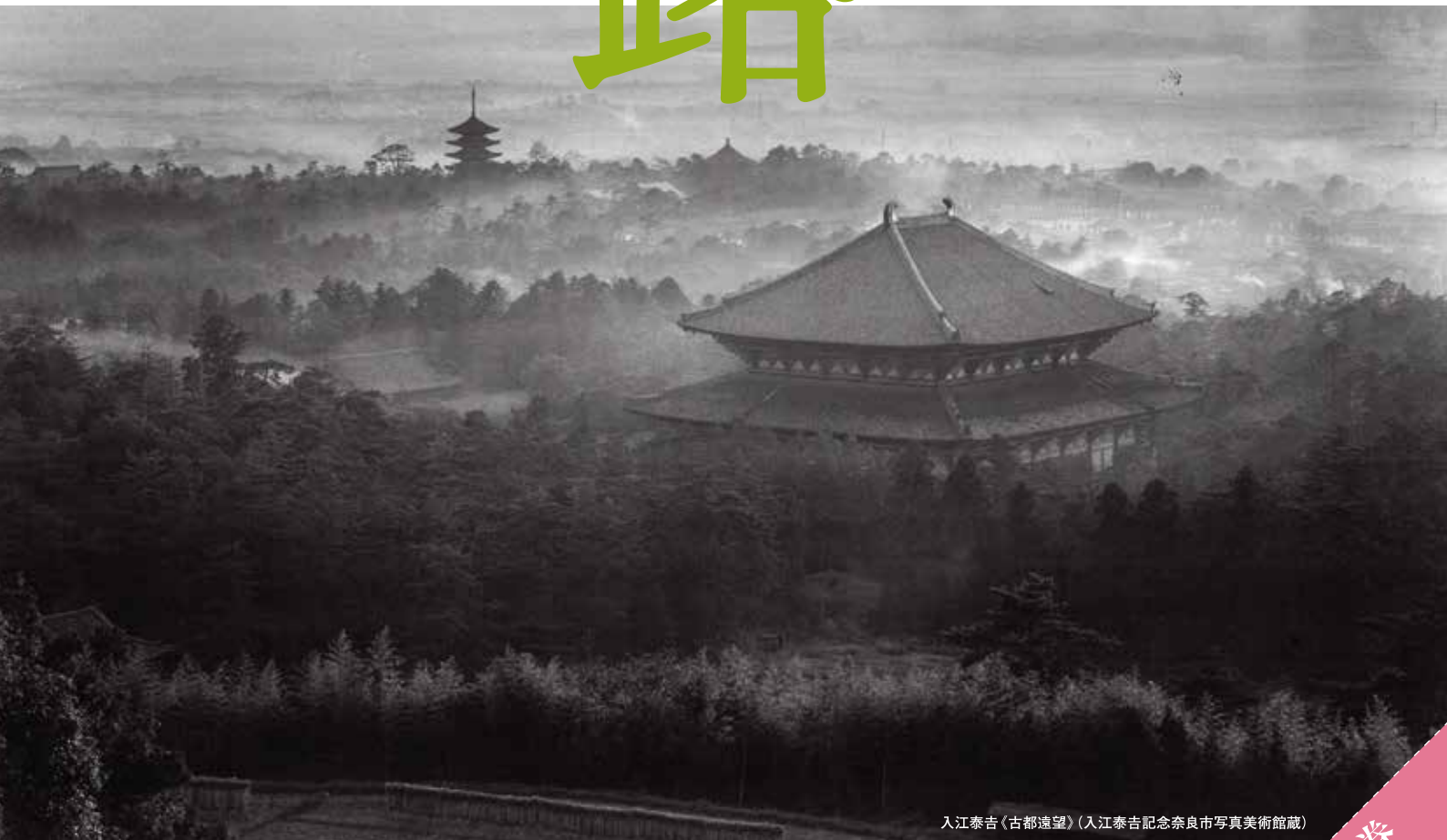
産経新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、共同通信社新潟支局、

時事通信社新潟支局、NHK新潟放送局、NST新潟総合テレビ、

TenYテレビ新潟、UX新潟テレビ21



杉本健吉《春日野鹿》  
(奈良県立美術館蔵)



入江泰吉《古都遠望》(入江泰吉記念奈良市写真美術館蔵)



AIZU YAICHI  
MEMORIAL MUSEUM

新潟市會津八一記念館 TEL.025-282-7612  
(10:00~18:00)  
〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ5F  
<https://aizuyaichi.or.jp>



入場割引券  
■本券持参で2名様まで  
2割引引きになります  
■他の割引との併用不可  
■2024.12.8まで有効



良大和路を愛した歌人、書家、東洋美術史家の會津八一(1881~1956)は、その学識と芸術で同時代の多くの芸術家を刺激し、影響を与えています。中でも写真家・入江泰吉(1905~1992)、画家・杉本健吉(1905~2004)は、八一の学芸に心酔し、奈良大和路をテーマに多くの名作を残した人物と言えるでしょう。

3人の出会いは戦後の昭和21(1946)年。文化人たちが集った東大寺観音院で親交を深めました。杉本は八一と書画集『春日野』を刊行するなど合作を多く残し、八一没後も関連作品を発表しています。また、入江も八一の短歌と自ら撮影した写真を組み合わせた書籍を刊行し、奈良市の法

華寺に八一の歌碑「ふちはらの」を建立するなど、終生敬慕の念を抱いていました。

彼らの活動を見守った東大寺観音院の住職・上司海雲(かみつかさ・かいうん、第206世東大寺別当、1906~1975)は「奈良に関しては、やっぱり歌では會津八一さん、絵では杉本健吉さん、写真では入江さん、これは動かせんことだな」と称賛しています。

本展では奈良県立美術館と入江泰吉記念奈良市写真美術館の協力を仰ぎ、會津八一との合作や3者各々が独自の感性で表現した奈良大和路の美を紹介します。



## information イベント情報



### 野中吟雪館長による作品鑑賞会

【日時】2024  
【会場】



## 新潟市會津八一記念館

◎交通のご案内：新潟駅から バス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港から タクシー約15分

◎駐車場のご案内：新潟日報メディアシップ駐車場(24時間営業) 第1駐車場は220円、第2駐車場は200円(第1、第2共に30分)

※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。

